カリフォルニアアシカ（愛称:リオン）の輸送中の死亡経緯について

マリンワールド海の中道

移動経緯

マリンワールド海の中道はカリフォルニアアシカの血統更新のために新規個体の導入を希望していて、JAZA カリフォルニアアシカ計画管理者に相談したところ、搬出の意向があった男鹿水族館を紹介されました。今回の移動は新しい個体を導入したいという当館の意向と繁殖した雄を搬出したいという男鹿水族館の意向が一致したものです。

輸送計画

今回の輸送はマリンワールド海の中道が主体となって計画しました。
男鹿水族館から羽田空港まではトラックでの陸上輸送、羽田空港から福岡空港は航空機での空輸としました。空輸にしたのは、これまでアシカの空輸は海外からの長時間飛行でも事故事例は確認できなかったこと、全行程陸上輸送にすると輸送時間が長くなり動物への負担が増えることを考慮しました。
男鹿水族館から福岡空港までの輸送は当館から専門業者に依頼しましたが、男鹿水族館は羽田空港に係員を派遣し、異常があった場合は都内の水族館に緊急搬送できる体制をとっていました。輸送時期は秋田での積雪を考慮して決定しました。

輸送経緯

11 月 17 日

14:00 頃	マリンワールド海の中道の担当者が男鹿水族館で動物を確認
16:00 すぎ	輸送準備開始（男鹿水族館職員のみで実施）
17:00 前	輸送檻収容完了
	収容後もあわてた様子無く、トラックに搭載しても落ち着いて寝る姿勢になる
17:05	輸送トラック出発

11 月 18 日

5:00 頃	羽田空港にて男鹿水族館係員が動物の状態を確認
	怪我なく、落ち着いた様子で呼びかけにも反応
5:30 頃	飛行機へ搭載（以降福岡空港着まで動物確認は行えない）
7:30	羽田空港出発
9:25	福岡空港到着
10:25	受け取り時に死んでいることをマリンワールド海の中道の獣医が確認
11:30	マリンワールド到着後体温測定
	死後硬直のため直腸 10cm ほどしか入らず　体温 40.8℃
15:10 頃	男鹿水族館と協議の上、当館で解剖
	目立った異常所見はなし

死亡原因

死亡後の体温が高温であったことから、羽田空港から福岡空港までの間で体温が上昇したことによる高体温症が考えられますが、現在病理組織検査を実施しており、確定診断は検査結果を受けてからになります。